

地域医療構想のさらなる取組みについて

1 厚生労働省の動き

令元. 9. 26 第 24 回地域医療構想に関するワーキンググループ

「具体的対応方針の再検証の要請等について」の中で、診療実績の分析方法、対象となる病院名を挙げて議論。（＝病院名の公表）

令元. 10. 4 「国と地方の協議の場」にて全国知事会等と協議

令元. 10 「地域医療構想に関する自治体等との意見交換会」を全国 7 ブロックで開催（仙台では 10/23）

現在 正式な「具体的対応方針の再検証の要請」は、まだなされていない。

再検証の期限は、再編統合（ダウンサイジングや、機能の分化・連携・集約化、機能転換・連携等を含む）を伴う場合は 2020 年 9 月末まで、再編統合を伴わない場合は 2020 年 3 月末までとされており、この期限に変更はない見込み。

2 病床機能報告に基づく村山地域の現状

	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休 床	計
地域医療構想における 2025 年の必要病床数 A	523	1,687	1,431	1,232	－	4,873
構想策定時（2015（H27） 年）の病床数	734	3,143	723	1,185	146	5,931
2017（H29）年度病床機能 報告数 B	738	2,978	761	1,230	125	5,832
B と A の差	215	1,291	▲670	▲2	－	834

3 今後の方向性

現在、村山地域の各病院では地域医療構想の目標に向かって、それぞれの取組みを進めている。

本協議会においては、地域医療構想の取組み（ダウンサイジングや、機能の分化・連携・集約化、機能転換・連携等を含む）を進めるため、必要に応じワーキング等において引き続き協議を続ける。